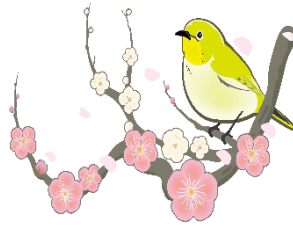


伝えよう、三計と半九の教え

そっけん 息軒だより

百里を行く者は
九十里を半ばとす



令和4年2・3月号(第30号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝 館長 川口眞弘
〒889-1605
宮崎市清武町加納甲3378-1
TEL 0985-84-0234
FAX 0985-84-2634
e-mail sokken.yasui@pic.bbq.jp
<https://yasuisokken.jp>



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

今年も梅が咲き始めました



梅は咲いたのに…

今年も臨時休館に… 梅まつりや呈茶等も中止に…



コロナウイルス変異種、オミクロン株がまたたく間に感染拡大し、宮崎市も「まん延等防止重点措置」の対象地域に指定され、1月22日(日)から2月13日(日)まで臨時休館となりました。梅の名所でもあるのに… せっかくその梅の花が当記念館にも咲き始めたのに… 昨年に引き続き今年もまた恒例の「安井息軒梅まつり」は中止になってしまいました。「呈茶」も、そして「写真コンクール」も中止とさせていただきます。「短歌・俳句・川柳コンクール」は実施します。

12月12日(日) 安井息軒記念館バスツアーを実施

昨年「飢肥街道を歩く」を実施し、大好評で、参加できない方もたくさんいらっしゃったので、ご要望にお応えする形で、今年も同じ企画を実施しました。今回も昨年同様、まず北郷の花立にと考えたのですが、途中の道路をバスが通行することができなかったため、往時の参勤交代のルートと同じように、飢肥を出発して、途中、旧報恩寺(現五百禰<いおし>神社)に立ち寄りました。そこから山中の旧飢肥街道を歩き、山仮屋の関所跡を訪ね、山仮屋隧道、そして椿山の殿様道路を歩きました。晴天にも恵まれ、参加者一同、とても喜んでくださいました。



令和3年度 冬の企画展を好評開催中

1月15日(土)から「安井息軒 江戸での活躍」と題して、冬の企画展を開催、同日には同じタイトルで記念館講座を実施しオープニングを飾りました。開催にあたって、コロナ禍が一定の収束を見た12月初旬には東京と水戸への調査を実施、その成果も盛り込んでの企画展です。期間を5月8日(日)まで延期、ぜひご来館ください。



①最初に三計塾を開いたのは鉄匠藩
千駄ヶ谷下屋敷 現神宮球場



⑦4度開塾桜田上屋敷 現日比谷公園



⑭お気に入りの江戸城
半蔵門至近、海嶽楼跡

※地図上の番号は三計塾の変遷を移転順に示したものです。

第三大区土手三番町
【最後の三計塾】
尾張藩上屋敷を差し向いに眺める土手沿いにあり、畳数143枚、日当たりの良いこの家で息軒は娘・須磨子や弟子たちに見守られながら78歳の生涯を閉じる。

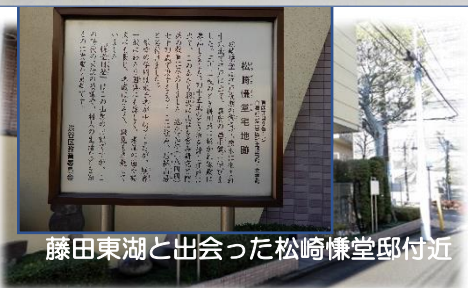
類町1丁目河岸
(慶応元年～明治元年)
【海嶽楼】
実に14回目の移転で息軒は初めて心に通った地に住居を構えた。奥には小楼があり、西は富嶽、東は金杉の海まで見晴らせたという。最高の眺望を有したこの楼を息軒は「海嶽楼」と名づけた。塾生たちと観月の宴を催したのもこの楼である。

桜田上屋敷
【4度目の上屋敷】
井伊家(彦根藩)代々木別邸から伊東家上屋敷へ移転する。この時、伊東家は塾生を200人余りも収容できる部屋を用意して、礼を尽くして息軒を迎える。この時期の塾生は100名を越す。

【松本藩中屋敷(高輪)・下屋敷(白金)】

【この時期の三計塾の様子】
「・・・塾もこの頃は、学僕35人、上下階で43人に成り家中は人のたくあん漬けのように誠に騒々しく、その上泊り客のない日は月に10日程もあるだろうか。女たちはいつもてんてこ舞っている。・・・」(須磨子宛ての手紙から意訳)と、活気がありいつも泊り客の絶えない三計塾の日常が垣間見える。

[天保14年 徳江戸大地図] (人文社)



藤田東湖と出会った松崎憐堂邸付近



⑮勝海舟・山岡鉄舟が明治天皇の侍講の依頼に来た彦根別邸 今は明治神宮に



⑳息軒終焉の地 土手三番町の屋敷界隈は現在東京中華学校に

藤田東湖と芳野金陵、そして安井息軒!!

藤田東湖は水戸藩主、徳川斉昭の参謀役で当時幕府から海岸防禦(ぼうぎょ)御用掛を命ぜられて多忙を極めていました。東湖と息軒以下3名は無二の親友で、東湖は3名と会うのを心から楽しみにしていたとのこと。東湖は人傑で、西郷隆盛の憧れの存在でもありました。東湖は安政2年10月2日に江戸を襲った直下型の大地震で亡くなりますが、実はその前日、東湖は金陵宅に招かれて、息軒、藤森弘庵とともに午後11時ごろまで一緒だったというのです。金陵、弘庵、息軒の、そして主君斉昭の心境はいかばかりだったことでしょう。



弘道館正門

With コロナ 講座等肅々と開催

安井息軒記念館講座

第7回「幕末・明治の海防と国防」
令和3年12月4日(土)
宮崎産業経営大学教授 甲斐睦教氏

第8回「安井息軒の漢詩を読むために」12月18日(土)
宮崎大学准教授 山元宣宏氏

第9回「安井息軒 江戸での活躍」
令和4年1月15日(土)
安井息軒記念館 川口・長野



みやぎき三計塾

第6回 令和3年12月19日(日)
宮崎大学教育学部准教授 山元宣宏氏
全6回完了

清武町史セミナー

第6回 令和3年12月11日(土)
清武町史執筆者のお一人 松浦祥雄氏
全6回完了

二月十二日開催予定の日南市教育員会文化財専門員、佐藤智文氏による**第十回記念館講座**は、休館措置の関連で四月二十三日、令和四年度第一回記念館講座として開催します。



今年もきれいになりました

下中野文化財愛護少年団の皆様による旧宅清掃



早春の清武城跡周辺を歩く

令和3年度 息軒ふるさとウォーク

早春の自然を楽しみながら、清武城跡周辺の史跡を歩きましょう

令和4年3月6日(日) 9:00 集合 12:00 まで

集合場所 加納小学校南側駐車場(体育館前)

散策先 清武城跡、中山寺跡、船引神社、
稲津掃部助の墓、伊東祐堯の墓ほか

申込 TEL、Fax、メールでお名前、住所、電話番号

第1回 安井息軒短歌・俳句・川柳コンクール開催

息軒の父滄洲も、そして息軒も愛した梅をテーマに、短歌・俳句または川柳を創作してみませんか？
主題 安井息軒旧宅または記念館庭園の梅、そこに生息する野鳥や家屋等

応募方法 (お一人2首まで、下記いずれも可)

- 1 記念館に準備している応募用紙・専用ポスト利用
 - 2 当館ホームページの最新情報(お知らせ)から、要項及び用紙をダウンロードして利用
 - 3 葉書や封書を利用して記念館まで郵送
- 締切 1月22日(土)~3月1日(火)まで
部門、お名前、住所、電話番号を明記して申込

2月11日開催予定の令和3年度第19回安井息軒梅まつり中止決定…

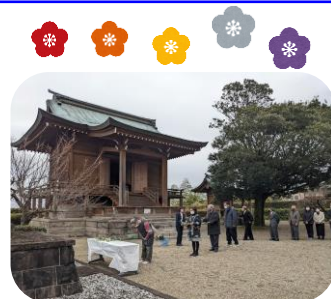


新種オミクロン株による感染拡大防止に伴う宮崎県のまん延防止等重点措置により、本年度も昨年度に引き続き、残念ながら中止となりました。昨年6月の第1回実行委員会から今まで4回にわたり、感染防止対策を図った梅まつり実施に向けて、関係機関・団体等と協議を進めて、チラシ印刷、配布まで行いました。しかし、年明けからの急激な感染拡大により、1月15日の実行委員会で、中止を判断しました。これまで、実施に向けて携わってこられた関係者や関係機関・団体等の方々に、心よりお礼を申し上げます。

来年度こそ、実施したいものです。

お佐代さんを偲ぶ会の開催

安井息軒先生の奥様である「お佐代さん」の命日を偲び、1月8日(土)午前中に、安井息軒記念館で実施しました。約30名の会員や関係者が、「佐代夫人供養塔」の前で献花を行いました。その後、研修室で長野記念館職員によるお佐代さんの卓話を聞きながら呈茶を頂き、隈元様、石野田様両氏による尺八演奏(題目「青葉、鹿野苑(ろくやおん)恋慕」があり、息軒を献身的に支えた妻「お佐代さん」を偲びながらひと時を過ごしました。



第5回安井息軒顕彰小学生かるた大会予選会を開催



1月8日の午後、20名の小学生及びその保護者による、小学生かるた大会(ダブルス)を行いました。下学年の部、上学年の部、児童と保護者の3部門で梅まつり時に安井息軒旧宅で行う決勝戦に向けた予選会を行いました。当日は、新聞記者が白熱の対戦を取材していました。選手には決勝戦参加資格証等を授与しましたが、決勝戦が中止になったことは残念です。

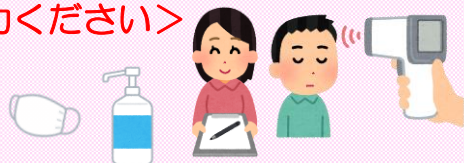
安井息軒旧宅の清掃と記念館駐車場のライン引き

12月11日(土)、18名の顕彰会の会員や運営協力員の方々に旧宅清掃を行いました。今回は樹木の剪定、落葉の清掃と旧宅の片隅に堆積していた枝木を軽トラックで焼却場まで搬送しました。並行して、記念館西側駐車場の枠のラインが薄くなっていましたので、会員と運営協力委員が協力してライン引きを行いました。なお2月10日(木)の第10回旧宅清掃は中止します。



<引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。



会員の皆様へ

本年度はコロナ禍で会員の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げます。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

なお、当顕彰会では新規会員を募集しています。

お問い合わせは右記事務局までお願いします。

会費

- 一般会員 2,000円
- 賛助会員 1,000円
- 学生会員 5,00円
- 団体会員 5,000円(1口)



☆ 皆様からお預かりした会費は、情報紙等お知らせの郵送の他、自主事業の財源として活用されます。納入へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1

(宮崎市安井息軒記念館内)

電話：0985-84-0234 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

